

第 1 編 基本構想



第1章 基本構想策定の目的

平成17年（2005年）の旧袋井市と旧浅羽町との合併から10年が経過しました。この間、本市では、「人も自然も美しく 活力あふれる 日本一健康文化都市」をまちの将来像に掲げ、「自らのまちは自らが創る」という自覚と行動力をもって人づくりと産業づくりなどを進め、地域の特性を最大限に活かしたまちづくりを進めてきました。

一方、我が国の状況を見ると、人口減少、少子高齢化の進展や市民ニーズの多様化など社会環境は大きく変化しており、まちの活力を維持していくためには、生活の基盤を支える産業の活性化をはじめ、充実した市民サービスの提供など、まちの魅力向上をさせる取組が重要になってきています。また、地方分権が進む中、地方自治法の改正により基本構想の策定義務が撤廃され、市の判断でこれまでの総合計画の枠組みにとらわれない柔軟な発想に基づく計画を策定することができるようになりました。

今後、本市が持続的に発展していくためには、長期的な視野で社会の動向を見据えながら、安全・安心を実感できるまちはもとより、誰もが快適で質の高い生活を実現できる魅力的な都市へと歩みを進めることが必要であり、こうしたまちづくりを推進するにあたり、市民と行政とがともに共有できる「まちの将来像」を描き、それを実現するための「まちづくりの目標」を示す必要があります。

そこで、時代の変化や価値観の多様化に適応しながら、市民と行政がともにまちづくりを推進する指針として、平成37年度を目標年次とする基本構想を定め、総合的かつ計画的なまちづくりを進めていきます。

第1章
第2章
第3章
第4章

第1編
第1章
第2章
第3章

第1章
主要目標の計画

第2章
行政経営方針

第3章
第1節
施策体系

第2節
政策1
か子どもがすこやかに育つまちを
目指します

政策2
健康長寿で暮らしを楽しむまち
を目指します

政策3
すまじまちを魅力あるまち
を目指します

政策4
し業活力みなぎるまちを
目指します

政策5
指し安全・安心に暮らし
ます

政策6
指し市民がいきいき
ます

付属資料

第2章 まちの将来像

本市は、遠州灘をはじめ太田川や原野谷川、小笠山などの豊かな自然資源、遠州三山や東海道袋井宿などの歴史・文化的資源に恵まれるとともに、先人によって培われてきた美しい水田や茶園などの農村環境や、地域に活力をもたらす多種多様な企業の立地により住みよい田園都市へと発展してきました。

現在、我が国の状況を見ると、人口減少、少子高齢化の進展などに伴い社会環境が大きな転換期を迎えています。その中で、人々の考え方は物の豊かさから心の豊かさ、量から質の充実へと変わりつつあり、また、国の政策も大都市への一極集中から、地方で暮らすことの魅力を高め、質の高い生活を実現させていく方向にあります。

このような背景のもと、本市は、これまで長年にわたり積み重ねられた地域固有の資源を継承し発展させるとともに、市民一人ひとりがもつ可能性を発揮する中で、これまで以上に人と人とのつながりを大切にし、互いに支え合う豊かな社会を目指して、未来を拓く人づくりを進めていく必要があります。さらには、市民の暮らしを支える力強い生活基盤を構築するため、地域に根ざした産業づくりを推進し、より自立性の高い都市への実現を目指していくことが必要です。

そのため、私たち袋井市民は、心身ともに健康で豊かに暮らすための「心と体の健康」、良好な住環境の形成や産業を活性化するための「都市と自然の健康」、市民や地域の力を未来の発展につなげる「地域と社会の健康」の3つの健康の柱を充実させることで、常に時代の一步先を行く“日本一健康文化都市”の実現のため、第2次袋井市総合計画におけるまちの将来像を次のとおり掲げます。

活力と創造で 未来を先取る 日本一健康文化都市

第3章 まちづくりの基本目標

まちの将来像「活力と創造で 未来を先取る 日本一健康文化都市」を実現するため、まちづくりの基本目標を次のように定めます。

子どもがすこやかに育ち みんなが健康で幸せに暮らすまち ～心と体の健康～

誰もが健康で幸せに暮らし続けられるように、保健・医療、福祉を充実するとともに、スポーツや生涯学習、社会貢献活動などを通じて生きがいと心の充足を図り、健康寿命を延ばす取組を推進します。また、子どもたちの育ちを支える取組として、安心して産み育てられる環境を充実するとともに、未来をたくましく生きる力を育む教育を推進し、「子育てするなら袋井市」と言われるまちを目指します。

活力にあふれ 潤いと安全・安心を実感できるまち ～都市と自然の健康～

まちが活力にあふれ持続的に発展し続けられるように、私たちの生活基盤であり、まちの活力の源でもある産業を育成し、革新と創造へのチャレンジを促進します。また、誰もが安心して快適に暮らし続けるために、防災・防犯対策を充実するとともに、良質な住環境の創出や、多様な自然環境を次世代へ継承する取組を推進し、「定住するなら袋井市」と言われるまちを目指します。

つながりと交流を大切にし 豊かな市民力で未来を拓くまち ～地域と社会の健康～

誰もが誇りと愛着をもって暮らし続けられるように、人と人との絆を大切にし、お互いの個性と創造性を認め合い、助け合う真の豊かさが感じられる“ふくろい”を築いていきます。また、本市固有の歴史や文化を創造し継承する取組を推進し、地域資源を磨き高めるとともに、国内外との交流を深めることで、未来へ力強く踏み出し、「市民力なら袋井市」と言われるまちを目指します。

第1章
第2章
第3章
第4章

第1編
基本構想
第1章
第2章
第3章

第1章
主要計画
の
目標

第2章
行政経営
方針

第3章
第1節
施策体系

第2節
政策1
子どもがすこやかに育ちます

政策2
健康長寿で暮らしを楽しまちを育みます

政策3
快適で魅力あるまちを育みます

政策4
活力みなぎる産出を育みます

政策5
安全・安心に暮らしを育みます

政策6
市民がいきいきを育みます

付属資料

